

子ども

日外アソシエーツ  
編集部編

博物館 美術館  
事典

# 凡 例

## 1. 本書の内容

本書は、博物館、美術館、科学館、大型児童館（複合施設）、企業PR館などの中から、子ども向けや子どもが楽しめる展示、体験型学習などに注力している館の事業等を掲載した。掲載数は186館である。

## 2. 収録の対象

- 1) 全国の関連施設にアンケート調査を行い、寄せられた回答および資料をもとに収録した。
- 2) アンケート未回答館、長期休館中、閉館予定の館などは掲載しなかった。

## 3. 掲載事項

- 1) 以下の事項を、原則としてアンケート回答時の情報で掲載した。アンケート実施時期は、2016年4月から5月末までの期間である。  
館名／沿革・概要／展示・収蔵／事業／出版物・グッズ／所在地／TEL／FAX／URL／E-mail／交通／開館／入館料／休館日／施設／設立／設置者／管理／責任者／館のイチ押し
- 2) 掲載事項の詳細は以下の通り。
  - (1) 館名の記載にあたっては財団法人などの法人格の表示は省略した。
  - (2) 事業には、館主催・共催事業のほか、一部賛助事業なども含めた。
  - (3) 出版物は原則として館編集・発行のものを採用したが、一部、企画・編集協力、監修等も含まれている。
- 3) 記載内容については、一部用語・体裁等の統一をおこなったが、アンケートの回答を尊重し、表記をそのままとした箇所がある。
- 4) 写真（外観・展示内容等）は、各館から提供されたものを使用した。

## 4. 排 列

- 1) 全国を「北海道」「東北」「関東」「中部」「近畿」「中国」「四国」「九州・沖縄」の8つのブロックに分け、さらに都道府県別に館名の五十音順で排列した。

- 2) その際、濁音・半濁音は清音とみなし、またチ→シ、ヅ→スとみなして排列した。拗音・促音は直音とみなし、長音は無視して排列した。

## 5. 館名索引

186館を館名の五十音順で排列し、掲載ページを示した。

## 6. 参考資料

収録候補館の選定にあたり、下記を参考とした。

『るるぶこどもとあそぼ!』JTBパブリッシング

子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」

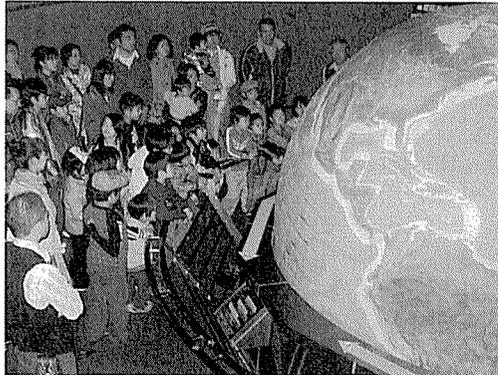
<http://iko-yo.net/>

児童館・児童クラブの情報サイト「コドモネクスト」

<http://www.kodomo-next.jp/>

## 滝川市こども科学館

滝川市では国道12号、38号、高速道路滝川ICに近接するゾーンを文化ゾーンとし、1971(昭和46)年より整備を進めてきた。そのゾーン内には郷土館、中央児童センター、美術自然史館等を整備。これらの施設で構成される一面をサイエンスパークと位置づけ、1991(平成3)年のこども科学館の建設により整備の完成に至った。



動く地球儀

空知地方唯一のこども科学館として、またサイエンスパークの中核施設として身近な科学に触れ、興味を持つきっかけを提供するために、参加して体験する科学館を目指している。

### 【展示・収蔵】

『宇宙・地球の不思議』『人間の不思議』『自然界の不思議』の3つのテーマで構成。

◇テーマ1『宇宙・地球の不思議』…自然史から宇宙・地球へと自然の流れで展開する。「宇宙・地球にかかわる巨視的な科学」は、やがて「地球をとりまく自然」から「人間の構造や機能」にかかわるミクロの科学へと展開し、またマクロの世界へと循環する。

◇テーマ2『自然界の不思議』…この世の中は不思議に満ち、それが科学がなせる原理や現象であることを感じさせる。自然の中のわずかな現象から原理をとり出して、こどもたちに分かり易く見せ、考えさせ、それによって科学や技術を身近な感覚にさせる展示を行っている。

◇テーマ3『人間の不思議』…人間の不思議から、人類の行為へと展開するコーナー。宇宙、地球そして自然から自分の身の回りの科学へと発展し、

体の中に入り込んでいく。

主な展示物として、46億年前から現在まで、地球の大陸はどのように変化してきたのか、その様子を体験することができる直径3mの動く地球儀「プレート・テクトニクス」(『宇宙・地球の不思議』)や、50万ボルトの静電気を起こし、いろいろな実験ができる「ヴァン・デ・グラーフ」(『自然界の不思議』)などがある。

その他、職員の手作り展示品も含め約40点の体験型を中心とした展示品が揃っている。小さな子どもも楽しめる「つりぼりコーナー」や玉ころがしなどが楽しめる「キッズコーナー」なども設置されている。

### 【事業】

毎月第4土曜日に月イチリカ室、夏休み・冬休みわくわくサイエンスなど。

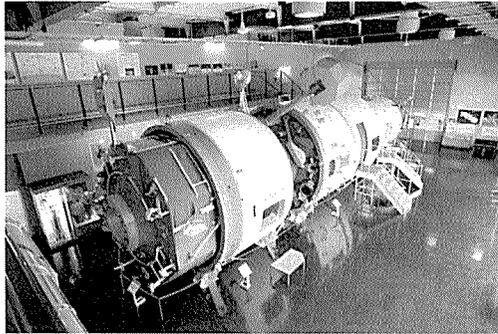
- ・所在地 〒073-0033 北海道滝川市新町2-6-1
- ・TEL 0125-22-6690
- ・FAX 0125-23-8786
- ・URL <http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/260kyouiku/05bijyutsu/k-museum.html> (滝川市HP内)
- ・E-mail [museum@city.takikawa.hokkaido.jp](mailto:museum@city.takikawa.hokkaido.jp)
- ・交通 JR函館本線滝川駅下車 徒歩20分、タクシー5分
- ・開館 AM10:00～PM5:00(入館はPM4:30まで)
- ・入館料 一般310円、高校生210円、小中学生100円、幼児無料 ※年間パスポート、団体割引あり
- ・休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日休館)、祝日の翌日、年末年始(12月31日～1月5日)
- ・施設 鉄骨・鉄筋コンクリート造、延床面積1730.87㎡
- ・設立 1991(平成3)年3月
- ・設置者 滝川市
- ・責任者 館長・小山淳

### 館のイチ押し

- ・「CGはない!さわるカガク」がキャッチフレーズ。大陸移動の様子がわかる直径3mの「動く地球儀 プレートテクトニクス」や静電気実験装置「ヴァンデグラーフ」なども自慢です。
- ・職員手作りの小惑星探査機「はやぶさ2」実物大模型も展示中。

とまこまい  
**苫小牧市科学センター**

青少年の科学的知識の普及と文化の向上を図ることを目的として苫小牧市が建設。1968(昭和43)年10月工事着工、1970(昭和45)年1月落成し、「苫小牧市青少年センター」として開館、業務を開始した。1972(昭和47)年6月には、子供たちの明るい未来を願って、画家・故谷内六郎の原画



宇宙ステーション「ミール」予備機

による縦5m×横14mのモザイクタイルの壁画「芽の出る音」が建設を記念して寄贈された。1985(昭和60)年11月、新博物館の完成に伴い科学部門を充実させ、本施設を「苫小牧市科学センター」に改称、今日に至っている。1998(平成10)年10月には、苫小牧市市制50周年を記念して、将来の苫小牧を担う子供たちのためにと寄贈された宇宙ステーション「ミール」を設置、翌年12月「ミール展示館」がオープンした。

**【展示・収蔵】**

本館は、1階と2階の展示室からなり、約50点の展示物がある。ミール展示館には、ロシア(旧ソ連)の宇宙ステーション「ミール」の実物予備機が展示されている。

《本館1階展示室》

航空コーナーとして、防災救急ヘリコプター「はまなす」、大型グライダー、飛行の原理、航空機のエンジンなどが展示されている。

《本館・2階展示室》

科学の原理・原則に基づく参加体験型の展示物を中心に構成。宇宙コーナーや小さな子どもが楽しく学べる「遊びの森」のコーナーなどがある。また、プラネタリウム室もあり、四季の星空を中心に年間6回の番組を投影している。

《ミール展示館》

本館とは別棟にあり、ロシア(旧ソ連)の宇宙ステーション「ミール」と実験モジュール「クバント」の予備機が展示されている。

**【事業】**

巡回展の開催、夜間開館(参加対象：一般市民/夏・冬)、科学ふれあい教室(第1土曜日/年8回)、木工教室(毎月第3土曜日)、科学センター学習(市内小学校5年生対象に実施/宇宙ステーション「ミール」を活用した学習、真空の様々な現象を知ることができる実験、プラネタリウムを活用した天文に関する学習、太陽光発電学習拠点設備を活用した太陽光発電に関する学習)、工作教室(参加対象：親子/こどもの日・文化の日)、星空観望会(年間約20回)、移動科学センター(対象：学校・町内会・団体など/工作・科学・宇宙・天文(年間約50回)など)

**【出版物・グッズ】**

年報(毎年)/見学者用パンフレット など

- ・所在地 〒053-0018 北海道苫小牧市旭町3-1-12
- ・TEL 0144-33-9158
- ・FAX 0144-33-9159
- ・URL <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kagaku/>
- ・E-mail [kagaku@city.tomakomai.hokkaido.jp](mailto:kagaku@city.tomakomai.hokkaido.jp)
- ・交通 苫小牧駅から徒歩20分/道南バス 市役所前下車 徒歩5分
- ・開館 AM9:30～PM5:00
- ・入館料 無料
- ・休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始
- ・施設 本館:鉄筋コンクリート2階建、敷地面積2610㎡ 延床面積2496.773㎡  
ミール展示館:鉄骨造、敷地面積1801㎡ 延床面積493.51㎡
- ・設立 1970(昭和45)年1月
- ・設置者 苫小牧市
- ・責任者 館長・相内宏司

**館のイチ押し**

- ・ロシア(旧ソ連)の宇宙ステーション「ミール」予備機(実物)の見学
- ・親子が気軽に楽しく学べる「遊びの森」での体験 ほか

---

# 子ども博物館美術館事典

---

2016年7月25日 第1刷発行

---

編集／日外アソシエーツ編集部

発行者／大高利夫

発行所／日外アソシエーツ株式会社

〒143-8550 東京都大田区大森北 1-23-8 第3下川ビル

電話 (03)3763-5241(代表) FAX(03)3764-0845

URL <http://www.nichigai.co.jp/>

発売元／株式会社紀伊國屋書店

〒163-8636 東京都新宿区新宿 3-17-7

電話 (03)3354-0131(代表)

ホールセール部(営業) 電話 (03)6910-0519

---

組版処理／有限会社デジタル工房

印刷・製本／光写真印刷株式会社

---

不許複製・禁無断転載

<落丁・乱丁本はお取り替えいたします>

《中性紙三菱クレームエレガ使用》

ISBN978-4-8169-2613-6

Printed in Japan, 2016